

歴史書・人文書 ご担当者 様

有志舎の新刊です。2025 年 11 月下旬刊行

土と石の記憶

— 済州島四・三事件と人びとの日常生活史 —

高村竜平 著

四六判・ハードカバー・304ページ 本体価格 3,200円

ジェノサイドは人びとの日常を引き裂き、深い傷をあとに残していった！
韓国現代史上、忘れられない悲劇である四・三事件。その被害者をめぐる日常生活史と慰霊の在り方、
また日本の植民地支配や戦後日本社会と済州島との関係から、暴力・虐殺とその影響について考える。

(目次)

- 序 章 事件と日常
- 第一章 四・三蜂起と住民の社会的ネットワーク
- 第二章 焦土化作戦のなかの生業と生活
- 第三章 四・三犠牲者の慰霊と済州島の民俗文化
- 第四章 在日済州島出身者一世とその故郷
- 終 章 生活の中の四・三、四・三の中の生活

〈著者紹介〉高村竜平（たかむら りょうへい）：秋田大学教育文化学部准教授

～版元から～ 1948 年の大韓民国成立直前、米軍が占領する北緯 38 度以南のみの制憲議会選挙に反対し、4 月 3 日に朝鮮半島南部の済州島で武装蜂起が始まりました。それに対し、米軍政とのかの韓国政府は蜂起を鎮圧しただけでなく、全島を対象に苛烈な焦土化作戦と弾圧を展開し、蜂起とは関係ない民間人も含め多くの犠牲者が出ました。四・三事件です。本書は、蜂起と虐殺、犠牲者への慰霊と残された人びとについて、この島の玄武岩と火山灰土の土地に拠る日常生活史を通して考えていきます。また日本の植民地支配との関係や、生きるために日本へと渡った人びとの歴史も視野に入れながら、日常生活の空間が虐殺の現場になってしまった経験とその後に目をこらしていきます。今も世界中で起きているジェノサイドについて、この本から考えて欲しい。

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南4-19-2 クラブハウスビル1階 (有)有志舎 電話:03-5929-7350

番線印	ご注文	発行：有志舎	分野
	冊	土と石の記憶 — 済州島四・三事件と人びとの日常生活史 — 高村竜平 著 四六判・ハードカバー、304 ページ 本体価格 3,200 円	朝鮮史（近現代） 日本史（近現代）
	ご担当	新刊 ISBN 978-4-908672-86-6 C1022	弊社はいつでも返品を受け付けていますが、逆送のご心配がある場合は、「永淹 了解」として返品下さい。
	様		

ご注文は (株) JRC へ

FAX：03-3294-2177

電話：03-5283-2230

返品条件付注文です。